

令和6年度 岩手県立久慈工業高等学校 進路指導資料



第22代校長 水野扶佐史

【学校長あいさつ】

昭和55年に岩手県沿岸北部の産業振興とものづくり人材育成を設置目的として開校した本校は、これまで幾多に渡る時代の変遷を経て、現在電子機械科、建設環境科の2学科において開学の精神を受け継ぎ、今年で創立44年を迎えた工業高校です。これまでも優れた「人財」を輩出し、国内外で高い評価を得てきました。

本校が目指す学校像は「生徒の輝く姿が見える楽しい学校」であり、「久慈エプライド」を持つ生徒の育成に向けて、誠実に勉学に励み、確かな技術を身につけようとする久慈生にとって目指す姿といえます。

令和7年度に本校と久慈東高校が統合新設校となり、現在の2学科から工業科1学科2コース（機械コース、建設コース）となります。本年度が久慈工業高校名として最終年度となりますが、本年度入学生の卒業年度（令和8年度）までは2学科でのカリキュラムは勿論、進路活動も行いますので、今後とも、久慈生そして久慈翔北高校が活躍する環境を与えていただければ幸いです。

【目指す学校像】

「生徒の輝く姿が見える楽しい学校」

【教育目標】

- (1) 能力、適性を伸ばし、主体的に行動する人間の育成
- (2) 技術、技能を尊重し、勤労を貴ぶ人間の育成
- (3) 豊かな教養を育み、創造力豊かな人間の育成
- (4) 心身ともに健康で、自他を敬愛する人間の育成

3. 各学科の紹介

電子機械科

ロボットやマシニングセンタ、NC旋盤などの電子機械に代表されるように機械・電子・情報に関する技術が融合したメカトロニクスの発達により、生産工程を自動化するFAシステムに対応できるメカトロニクス技術を学習します。

～電子機械科3つの柱～

機械 ものづくりの骨格となる機械の基礎知識と技術を習得する。

電気 電子機械に欠かせない電気の基礎知識と技術を習得する。

情報 機械を自立させる情報の基礎知識と技術を習得する。

【3年間の学び】

1年生

電子機械に関する基礎的な内容を学ぶ。

工業技術基礎、工業情報数理、機械工作、機械設計

2年生

専門教科にさらに力を入れ、機械・電気・情報を関連付けて学ぶ。

実習、製図、機械設計、電子機械

3年生

電子機械の中核である制御技術を高度に学び、課題研究などを通してより実践的な技術を学ぶ。

実習、製図、課題研究、生産技術、機械設計、電子機械

●お知らせ

令和7年4月より、『久慈翔北高等学校』（くじしょうほく）として新たにスタートをきります。専門学校である本校と総合学校である久慈東高等学校と統合し、工業科（1学級）と総合学科（5学級）の1学年6学級（定員240名）の新しい学校となります。

久慈翔北高等学校

【野田校舎】

（旧：久慈工業高校校舎）

工業科（1学級）

2年次より、2コース選択

【機械コース】

【建設コース】

【門前校舎】

（旧：久慈東高校校舎）

総合学科（5学級）

2年次より、7系列選択

・人文科学系列、自然化学系列

・環境緑化系列

・情報ビジネス系列

・海洋科学系列

・食物系列

・介護福祉系列

1. 校内進路指導体制

校長	水野扶佐史
副校長	小岩篤郎
進路指導部長	奈良岡祐子
電子機械科長	近藤猛
電子機械科3年担任	佐々木佳穂
建設環境科長	日當仁己
建設環境科3年担任	上野智之

2. 生徒在籍数

学科・学年		1年	2年	3年	計
電子	男子	6	16	18	40
	女子	3	4	1	8
建設	男子	7	3	3	13
	女子	4	2	1	7
合計	男子	13	19	21	53
	女子	7	6	2	15

建設環境科

《環境土木コース》

土木とは私たちの生活基盤となる道路・鉄道・港湾・空港・ダムなどの社会生活を支えていく仕事です。また環境との調和を常に考えながら測量、コンクリート、土・水・構造力学等を幅広く学び施工技術者となるための知識を学びます。

《建築コース》

建築に関する知識と技術を習得させ、建築業・建築行政などの諸分野において、建築物の設計・施工・監理・指導などの業務に従事する技術者を養成します。

【3年間の学び】

1年生

建設環境科の専門教科として土木と建築に関係する基礎的な内容を学ぶ。

現場見学、工業技術基礎（実習）を通し建設の専門性を高める。

工業技術基礎、製図、工業情報数理、測量

2年生

環境土木コースと建築コースにわかれ、さらに専門性を高める。

インターンシップの実施によって実際の現場を経験する。

実習、製図、建築構造設計【測量、土木施工】

【建築構造、建築施工】

3年生

土木と建築移管する実験や実習を通じて、より専門的で高度な内容を学ぶ。

また、資格取得のための集中講義を行うなど、将来を見据えて進路目標達成のために学びを深める。

実習、製図、課題研究【土木基礎力学、土木施工、社会基礎工学】

【建築計画、建築施工、建築法規】

